

東京都小中学校環境教育研究会会報

東京の青い空

第55号

会長 國分重隆 新宿区立鶴巻小学校 TEL 03-3205-9502

事務局長 深津郁子 江戸川区立平井東小学校 TEL 03-3681-0957

HP <http://kankyokyoiku.jp>

新しい時代の環境教育を目指して「21世紀型の環境教育」の提案

会長 國分重隆

6月の総会を終え、東京都小中学校環境教育研究会も新体制でスタートしています。新会長の新宿区立鶴巻小学校校長國分重隆です。よろしくお願いいたします。

さて、本年度は、本会の50回目の発表会を板橋区立板橋第二小学校で行えることになりました。本年度は研究員の数もさらに増えました。研究員による研究授業や発表会における実践研究の成果発表も含め、環境教育の大切さを世の中に積極的にアピールするために打って出る年にしたいと考えております。

二十一世紀の世界は、この先も急激に変化し、このままでは地球の危機的状況が加速するといわれています。既に現在でも強い危機感をもって解決していかなければならない課題が、我が国にも世界にも山ほどあります。人間がこのままの社会生活を続けていけば地球そのものの存続が危うくなるような深刻な状況まで地球環境は弱っているのです。地球の危機はそこに住む生命体全ての危機であり、当然人間の社会の危機でもあります。

こうした将来の地球の危うさを考えるとき、未来に生きる人間として、世界の情勢に強い課題意識を感じながら、地球そのものに心を寄せ、その地球環境のあるべき姿を大切に、守って行こうとする社会の構築に進んで参画できる地球市民を育てることこそ、学校教育の果たすべき役割であると思います。そして、そこで大切になるのは、「自然にも人にもよりよい環境を創る力」さらにその「環境を続かせる力」そして、その「環境の創造を目指す社会に共に生き参画し、貢献してい

く力」というものです。小中学校の時代は、この三つの力の基礎となる資質や能力を育てる時期です。その教育がうまくいくかどうかで、地球の寿命も決まるくらいの思いで確かな実践を積み上げなければなりません。これらは、新しい環境教育の成果にかかっています。

本会では、ESDを大切にしてきました。しかし、もはやESDの中での環境教育では十分とはいえなくなりました。ESDを越え、ESDを取り込んだ新しい環境教育の具体的な実践が今まさに必要になってきたのです。

今年度、全国小中学校環境教育研究会では、これまでの研究の蓄積を基盤にして、新しい時代の環境教育のあり方を提案します。我々の研究もこの全国の研究と連動しながら進め、その成果を「21世紀型の環境教育」として世の中に打ち出していきます。この理想に共感し、実践していく学校や教師を増やしていくことが使命と考え、会員一人一人が、環境教育の大切さを具体的に語る実践を更に積み上げてまいります。授業を通して「学ぶ内容から、積み上げられ、培われていく豊かな環境保全意識を身に付けた人間の形成」と「問題解決的な学習を骨格とした確かな理解を基に、考え、判断し、行動、実践していく能力の育成」の両方を目指す、本研究会の実践研究の成果は、必ず今後の学校教育に役立つものになります。私たちと共に新しい時代の環境教育の創造に挑戦しませんか。同志を募ります。

(連絡先：03-3205-9502 新宿区立鶴巻小 國分)

平成 26 年度東京都小中学校環境教育研究会総会報告

平成 26 年 6 月 17 日(火)、新宿区立鶴巻小学校において東京都小中学校環境教育研究会総会を開催しました。議事として、平成 25 年度事業報告、決算報告、会計監査報告、新役員承認、平成 26 年度 事業計画案、予算案、研究計画案について審議し承認されました。また、総会後は聖心女子大学 教育学博士 永田佳之 先生より『持続可能な社会と学校づくり：「ESDの10年」を越えて』と題してご講演をいただきました。

◆平成 25 年度事業報告

1. 平成 25 年度総会 6 月 18 日 (火)
新宿区立鶴巻小学校
2. 研究部の活動の充実
 - ・夏季研修会 8 月 2 日
杉並区立桃井第二小学校
 - ・授業研究 (足立区立六ツ木小学校、多摩市立連光寺小学校)
 - ・現地研修会 自然観察会…立会川河口野鳥観察会…多摩川中流
3. 全国小中学校環境教育研究会との連携
 - (1) 第 45 回全国小中学校環境教育研究大会参加 平成 25 年 11 月 29 日(金)
秋田県大仙市立角間川小学校
藤木小学校
大曲南中学校
 - (2) エネルギー研修会 施設見学
平成 25 年 8 月 1 日(木)
東京ガス 新宿副都心地域冷暖房センター・ガスの科学館
4. 研究集録第 25 集の発行
5. 機関誌「東京の青い空」
No.53 号～No.54 号発行
6. 東京都教育委員会「くらしと環境 Web」
啓発資料作成委員

1. 収入

項目	予算額	決算額	適用
分担金	900,000	890,000	
繰越金	249,937	249,937	
利子	0	72	
計	1,149,937	1,140,009	

2. 支出

項目	予算額	決算額	増減
総会費	10,000	10,000	0
会議費	10,000	10,000	0
事務費	20,000	8,349	11,651
研究費	300,000	265,425	34,575
講演費	120,000	85,000	35,000
見学費	40,000	40,000	0
印刷代	150,000	99,740	50,260
通信費	30,000	24,260	5,740
全国大会	350,000	350,000	0
発表会	100,000	80,000	20,000
予備費	19,937	20,263	▲ 326
計	1,149,937	993,037	156,900

3. 会計監査報告

上記の決算について監査により相違ないことを認めます。平成 26 年 3 月 31 日
会計監査

杉並区立済美教育センター 野本厚子
江戸川区立教育センター 末吉順一

◆平成26年度事業計画

1. 平成26年度総会 6月17日(火)
於：新宿区立鶴巻小学校
 2. 研究部の活動の充実
 - ・夏季研修会 ・授業実践と事例報告
 - ・現地研修(自然観察・野鳥観察等)
 3. 全国小中学校環境教育研究会と連携した実践的研究の推進
- (1) 第46回全国小中学校環境教育研究大会

平成26年11月21日(金)
神奈川県横浜市立永田台小学校
(校長 住田 昌治)

- (2) エネルギー研修会 施設見学会
平成26年7月24日(木)
東京ガス扇島工場・ガスの科学館
4. 第50回東京都小中学校環境教育研究発表会
平成27年1月30日(金)
板橋区立板橋第二小学校
(校長 長沼 和人)
5. 研究集録第26集の発行
6. 機関誌「東京の青い空」
No.55号～No.56号発行
6. 東京都教育委員会「くらしと環境 Web」
啓発資料作成委員

◆平成26年度予算

1. 収入

項目	予算額	適用
分担金	890,000	分担金1校1000円
繰越金	146,972	平成25年度繰越金
利息	0	
計	1,036,972	

2. 支出

項目	予算額	適用
総会費	10,000	総会要項印刷等
会議費	30,000	定例役員会 研究部会 研究員発表会費
事務費	15,000	事務経費
研究費	350,000	集録作成 研究資料費 日本環境教育学会会費
講演費	90,000	講師謝礼

見学費	30,000	研修会見学費 交通費補助
印刷代	100,000	「東京の青い空」No.55～56
通信費	30,000	通信 送料等
全国大会	300,000	全国大会紀要作成補助 運営補助等
発表会	80,000	都発表会運営費
予備費	1,972	
計	1,036,972	

◆平成26年度役員

役職	氏名	学校名	役職
顧問	竹田 雄二郎	青梅市立新和小	校長
会長	國分 重隆	新宿区立鶴巻小	校長
副会長	棚橋 乾	多摩市立多摩第一小	校長
	邊見 公子	杉並区立桃井第二小	校長
事務局長	深津 郁子	江戸川区立平井東小	校長
事務局次長	野澤 由美	府中市立四谷小	校長
	佐々木智津子	中野区立中野本郷小	副長
	小島 佳子	葛飾区立練南小	副長
	鱒坂 映子	狛江市立白江第六小	副長
研究広報長	石田 好広	足立区立鹿浜第一小	校長
研究・広報部副部長	大場 一輝	狛江市立緑野小	校長
	宮原 元	品川区立民川小	副長
	石塚 裕幸	足立区千住本町小	副長
	酒井 和広	板橋区立富士見台小	副長
	關口 寿也	多摩市立連光寺小	副長
会務部長	阿閉 暢子	多摩市立連光寺小	校長
会務副部長	根本 美恵子	青梅市立第五小	校長
会計監査	末吉 潤一	江戸川区教育委員会指導室 学達教育支援センター	再任用
	杉本 茂雄	中央区立月島第二小	非常勤

全国環境教育研究会エネルギー研修会

東京ガス 扇島工場・ガスの科学館の見学報告

東京都足立区立千寿本町小学校 石塚裕幸

今年度も東京ガス株式会社様のご協力により、全国環境教育研究会主催のエネルギー研修会を夏季休業中に実施した。見学先は、首都圏のエネルギーセンターとして中核を担っている「東京ガス 扇島工場」と、今年4月よりリニューアルされた「ガスの科学館（がすてなあに）」である。扇島工場については、一般の見学ができない施設となっているため、特別に見学できるとあってか早い時期から申込みがあり、昨年度の見学者数を大きく上回った。今年度は、研修の申込みをメールにしたことも良かったと思う。

実施日時 平成26年7月24日（木） 9：20～17：00
集合場所 JR川崎駅東口付近
参加人数 31名（小学校20名、中学校11名）

(1) 東京ガス 扇島工場 <神奈川県横浜市>

この下にLNGタンクが埋設されている。



扇島工場は、根岸工場・袖ヶ浦工場に次ぐ第三のLNG（液化天然ガス）基地として建設された。特徴としては、奈良東大寺の大仏殿がすっぽり入るほどの容量（世界最大容量）LNGタンクが4基、地下に完全埋設されていること。また、周囲を就航する船舶の妨げにならないように、LNGタンカーが着岸する栈橋が海上に作られ、向上と栈橋との間は地中を通した世界最深度のシールドトンネルで結ばれている。トンネル内は11本の配管と通行用のスペースがある。

<地下タンクの効果>

①安全性 ②周辺環境との調和 ③敷地の有効利用

等の観点から地下タンクが採用された。地下タンクの表面には、マイナス16.2℃という極超低温に耐えられるよう、厚さ2ミリのステンレス製の板が全面に取り付けられている。

(2) ガスの科学館（がすてなあに） <東京都江東区>

ガスは目に見えないけれど、エネルギーや家や街のあちこちで活躍し、暮らしの中で欠かすことのできないもの。地球の恵みとしてのこの貴重な資源としてのガスを、地球にやさしく、そして大切に・安全に利用していくことを体験的に学ぶことのできる施設です。

暮らしを支えるエネルギーとしての天然ガスや都市ガスについて、地球環境とのかかわりや地震対策などについても紹介されていた。今回の研修会では、一般見学はしていない、実際に科学館で使用する熱や電気をまかなっている燃料電池・ガスコージェネレーションシステム・太陽光発電等についても案内していただき、大切な資源としてのガスというエネルギーについて、様々な角度から学ぶことができた。

第46回全国小中学校環境教育研究大会（神奈川大会）

全国小中学校環境教育研究会では、標記の大会を開催いたします。ぜひご参加ください。

21世紀「環境の世紀」の提言

《研究主題》

持続可能な社会づくりのための環境教育の推進
～ 環境教育によって育む学力と環境保全意欲 ～

1 日時 平成26年 11月21日（金） 9時00分～16時30分

2 会場 神奈川県横浜市立永田台小学校（校長 住田 昌治）

〒232-0075 横浜市南区みなみ台6-1

永田台小学校 HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nagatadai/>

3 主催 全国小中学校環境教育研究会

（全国小中学校環境教育研究会ホームページ <http://kankyokyoiku.jp>）

4 後援 文部科学省 環境省 神奈川県教育委員会 横浜市教育委員会他

5 時程

9:00 30 40 50 10:35 45 11:30 12:45 13:20 14:40 50 16:20 30

受付	オープニング	移動	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究発表	休憩	講演 ワークショップ	閉会式
----	--------	----	-------	----	-------	----	-----	------	----	---------------	-----

6 講演 テーマ 「持続可能な社会と学校づくり：ESDの10年を越えて」

講師 聖心女子大学教授 教育学博士 永田 佳之 氏

7 参加申込 全国小中学校環境教育研究会のホームページに掲載しております第46回全国小中学校環境教育研究大会（神奈川大会）第二次案内のPDFをご覧ください。

http://kankyokyoiku.jp/docs/20141121convention_ver02.pdf

全国小中学校環境教育研究会主催 第18回全国児童生徒環境絵画コンクール

全国小中学校環境教育研究会では、次世代を担う全国の小中学生に「自然の大切さ」や「住みよい街」を考え、広く知らせることを通して環境を守る意識をもち続けてほしいという趣旨で、環境絵画コンクールを行っています。全国環境絵画コンクールは、今年度第18回を迎え、全国から小学校2,015点、中学校2,046点、計4,061点の素晴らしい作品が寄せられました。厳正なる審査を経て、文部科学大臣奨励賞、環境大臣賞、会長賞、協賛社特別賞、佳作が選ばれました。12月13日に東京ビッグサイトにて表彰式が行われます。

